

I-3 健康増進課

1 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進

保健・医療・福祉包括ケアシステムとは、地域のすべての住民がたとえ疾病や障害をもっても、生きがいを持ち、安心・安全な生活を送ることを目的に、保健・医療・福祉等の各機関が十分に役割を果たすことができる仕組みを推進するものです。

(1) 地域・職域連携推進協議会

地域保健と職域保健の連携により、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備することを目的に平成 21 年度から地域保健医療推進協議会保健対策部会と併催で開催しています。なお、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できませんでした。

(2) 認知症地域連携懇談会

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会の実現を目指し、認知症の早期発見・早期対応のための体制整備や医療及び介護の連携の推進を図ることを目的に懇談会を年 1 回開催していましたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

(3) 在宅医療・介護連携推進事業

顔と顔の見える関係づくりを大事にし、「橋渡し窓口」の内容の充実と橋渡し看護・介護の質の向上に努め、更に医療と介護の連携が深まることを目的に事業を実施しました。

年月日	内 容
令和 2 年 9 月	<病院打合せ> ・これまで会議の場に病院が含まれていなかったことから、会議への出席のお願い、病院での入退院調整の現状把握を目的に、各医療機関との打合せを実施。 (9/2 むつ総合病院、9/3 むつリハビリテーション病院、9/4 大間病院)
令和 2 年 8～10 月	<ケアマネモニタリング調査> ・昨年度に引き続き、各市町村に対し、地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所のケアマネを対象としたアンケート調査の集計を依頼し、調査結果を分析
令和 3 年 1 月	<モニタリング調査結果の周知> ・ケアマネモニタリング調査結果について、むつ下北医師会、病院、市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等関係機関あて送付 ・保健所のホームページに調査結果を掲載 ・看護と介護の連携づくり委員会で委員に周知

※市町村等担当者会議は、新型コロナウイルス感染症の影響で、開催中止。

(4) 下北管内で開催されている各種協議会等への参加

保健・医療・福祉の関係者が連携を強化し、地域にある既存の社会資源を有効活用し、サービスを必要な人に一体的に提供できることを目的とした各種会議等に委員として参画しました。

<下北管内で開催されている各協議会等への参加>

会議名	開催状況	場所	事務局
むつ下北地域看護と介護の連携作り委員会	委員会：4回 (R2.5月、8月、11月、R3.2月) 5月書面開催、8月出席	むつ総合病院	むつ総合病院
むつ下北地域橋渡し研修会	中止	—	
地域連携パス推進協議会及び地域連携パス実務者連絡会	1回(R2.7月)書面開催	—	
むつ市合同地域ケア会議	1回(R3.3月)書面開催	—	むつ市
むつ市在宅医療・介護連携推進協議会	1回(R2.10月)書面開催	—	
むつ市高齢者・障害者虐待防止等連絡協議会	1回(R2.7月)書面開催	—	
むつ市障害福祉計画策定委員会	1回(R3.2月)書面開催	—	

(5) 市町村保健福祉活動への支援

市町村が行う保健福祉サービスの向上と、県内・圏域における保健福祉に関する情報の収集・提供等を行うことにより、管内地域健康福祉施策の円滑な実施を図ることを目的に、市町村の求めに応じて、下北地域県民局地域健康福祉部が持つ機能を活用し支援を行っています。

<市町村保健福祉活動への支援>

市町村名	市町村からの要望とその他の支援内容	支援回数
むつ市	①保健師活動打合せ(2回) ②精神ケース検討、同行訪問 ③むつ市新規重点事業(気づいて つなぐ いのちの事業) ④その他の支援 ・地域自立支援協議会	年14回
大間町	①保健活動打合せ・評価会(2回) ②健康づくり推進協議会(書面開催1回) ③自殺対策協議会(書面開催1回)	年4回
東通村	①保健活動打合せ(2回) ②難病同行訪問(3回)	年5回
風間浦村	①保健活動打合せ(2回) ②食育教室(風間浦村小学校)(2回)	年4回
佐井村	①保健活動打合せ・評価会(2回)	年2回

2 健康づくり

(1) 喫煙対策推進事業

喫煙はがん及び心臓病の重要な危険因子とされるとともに、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙による健康被害に対する予防意識の普及啓発を図ることを目的に事業を実施しました。

ア 「空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）」推進事業

現在、空気クリーン施設の登録は 311 件になっています。

<令和 2 年度までの登録状況>

認証施設の 種類	官 公 庁	文 化 施 設	保 育 育 育 施 施 設 設	医 療 施 設 (機 関)	福 祉 ・ 介 護 施 設	体 育 施 設	事 業 所	公 共 交 通 機 関	飲 食 店	宿 泊 施 設	そ の 他	タ ク シ ー 等 の 車 両	計
交付済数	10	6	71	34	38	2	73		52	3	10	12	311

イ その他

事業名	テーマ	対象者 参加者	内容
研修会	改正健康増進法（受動喫煙対策）周知及び空気クリーン施設認証 PR	食品衛生責任者講習会 147 名 (5 回)	ミニ講話
調査	改正健康増進法に係る第一種施設対応状況調査	管内の第一種施設 (222 施設)	敷地内禁煙、特定屋外喫煙場所設置等の各施設の対応状況について把握
広報活動	禁煙週間、受動喫煙対策の普及啓発	①一般住民 ②県民局職員	①ポスター掲示、リーフレット設置 ②むつ合同庁舎及びむつ健康福祉庁舎内の放送

(2) 減塩の推進とバランスのよい食生活の普及

食の環境づくり（青森のおいしい健康応援店認定事業）

「肥満予防」「食塩摂取量の減少」「野菜摂取量の増加」を踏まえた食事メニューの提供を行う飲食店等を認定し、県民が外食等を利用する際に適切なメニューを選択できる食環境の整備を図ることを目的として実施しました。

青森のおいしい健康応援店の認定は 58 店になっています。

3 栄養改善

(1) 給食施設栄養管理指導事業

安全で栄養バランスの良い給食が適切に提供されるように、給食従事者に対し栄養管理等について、個別巡回指導を実施しました。

年度	個別巡回指導		給食施設数	
	栄養士のいる施設	栄養士のない施設	栄養士のいる施設	栄養士のない施設
H30	47	22	47	22
R1	47	22	47	22
R2	35	13	52	17

(2) 市町村栄養改善業務支援事業

市町村保健計画の企画・立案及び地域住民を対象とした栄養相談等の栄養改善業務に従事する者の資質の向上を図り、市町村の栄養改善事業の推進を図ることを目的としています。

管内市町村栄養士の配置は、令和3年3月現在、むつ市に3名、大間町に1名配置されています。そのほかの管内町村の栄養改善業務は、主に地域活動栄養士が担当しています。

ア 連絡調整会議・研修会

	開催日	内 容	場 所	出席者
連絡調整会議	令和3年 2月5日（金）	災害時の栄養・食生活について	むつ保健所	市町村行政栄養士4名
研修会	令和3年 2月5日（金）	大規模災害時の栄養・食生活支援活動について（オンライン研修視聴）	むつ保健所	市町村行政栄養士4名

イ 保健所栄養士による市町村栄養改善業務支援回数

年度	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	合計
H30	4					4
R1	1			4		5
R2	2	2		3		7

4 母子保健

(1) 未熟児等情報共有システム

未熟児は、正常な新生児に比べて生理的に未熟で、疾病にかかりやすく、心身に障害を残すことがあり、未熟児を養育する保護者の不安等も強いことから、未熟児等訪問指導を通じて育児支援を適切にすすめ、関係機関と情報を共有し連携体制構築のため運用しています。

<令和2年度未熟児等情報共有システム運用状況>

市町村	低出生体重児数	未熟児等出生連絡票受理数	未熟児等訪問指導連絡票発行数
むつ市	25件	14件	15件
大間町	2件		
東通村	3件		
風間浦村			
佐井村			
計	30件	14件	15件

(2) 身体障害児等療育相談事業

身体の機能に障害のある児又は機能障害を招く恐れのある児を早期に発見し、適切な治療上の指導を行い、その障害の治療もしくは軽減を図ることを目的に療育相談を年3回開催しました。

また、身体障害児について障害の状態及び療育の状況を随時把握し、その状況に応じて適切な福祉の措置について指導しています。

<相談者数、相談結果(実人数)>

	5月	8月	中止	2月	計
要治療					
経過観察	3	3		4	10
異常なし					
計	3	3		4	10 (6)

<相談内容(延件数)>

肢体不自由	10
補装具相談	
視覚障害	
聴覚・平衡機能障害	
音声・言語・咀嚼機能障害	
その他(栄養指導等)	
計	10

(3) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整やその他の事業を行います。

ア 療育相談（ひまわり相談・面接指導等）の実施状況

定期のひまわり相談は0件だった。

相談内容別人員数

(件)

実人員	延人員								
	申請等	医 療	家庭看護	福祉制度	就学	食事・栄養	歯科	その他	計
16	11	19	1	0	5	3	0	2	41

イ 訪問指導 ※アの再掲

訪問指導者数		
計	男	女
2	1	1

(4) 妊産婦支援体制整備事業

母子保健ネットワーク会議

母子が健やかに妊娠、出産を迎え、育児を行うことができるよう、母子保健における課題について関係機関が協議を行い、連携を一層強化することを目的として行っていますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

(5) 女性健康支援事業

思春期から更年期にいたる女性とその健康状態に応じ的確に自己管理を行うことができるよう支援します。

<相談状況>

来所及び電話による随時相談を行い、相談件数は3件でした。

(6) 各種医療給付及び検査実施状況

ア 小児慢性特定疾病医療費助成制度

この制度は、長期にわたり療養を必要とする児童の健全育成を目的として、対象疾病の治療にかかった費用の一部を公費によって助成するとともに、治療方法等の情報を今後の治療研究に生かすものです。平成30年7月1日から制度改正となり、対象疾病は14疾患群から16疾患群に追加・整理されました。

令和2年度末現在、管内で小児慢性特定疾病医療受給者証を所持する対象児童数は84名となっています。

イ 小児慢性特定疾病児童手帳交付事業

上記アの対象児童に対し、緊急の連絡先等を記載する手帳（愛称：ひまわり手帳）を交付しています。令和2年度の管内の交付件数は7件となっています。

ウ 先天性代謝異常等検査

先天性代謝異常等検査は発見が遅れると障害の原因になる先天性の疾患を早期に発見し、治療することを目的として全ての新生児を対象に実施しています。

平成25年度から、新たな検査方法（タンデムマス法）が導入され、19疾患について検査することが出来るようになりました。

先天性代謝異常検査の結果、異常のあった者はいませんでした。

エ 青森県特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）については、1回の治療費が高額であり、その経済的負担が重いことから、費用の一部を助成しています。

令和2年度の管内の助成件数は25件となっています。

5 歯科保健

(1) 親と子のよい歯のコンクール

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

6 精神保健福祉

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者申請・通報・届出及び移送の状況（令和2年度）

（単位：件）

区 分	申請通報 届出件数	調査により 診察の 必要がない と認め た者	診察を受けた者		移送を行った件数		
			法第29条 該当症状 の者	法第29条 該当症状で なかった者	調査から 1次診察 場所まで	1次診察 場所から 2次診察 場所まで	2次診察 場所から 病院まで
一般の申請	1			1	1		
警察官の通報	12	6	4	2	6	2	4
検察官の通報							
保護観察所長の通報							
矯正施設の長の通報	2	2					
病院の管理者の届出							
計	15	8	4	3	7	2	4

イ 措置入院者

（単位：人）

元年度末患者数	2年度中新規患者数	2年度中解除患者数	2年度末患者数
0	4	3	1

ウ 入院形態別患者数（管内医療機関 令和3年3月31日現在）

（単位：人）

	総 数	措置入院	医療保護入院	任意入院	その他の入院
平成30年度	41		26	15	
令和元年度	37		28	9	
令和2年度	34		27	7	

エ 病名別入院患者数（管内医療機関 令和3年3月31日現在）

（単位：人）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
統合失調症	12	12	14
躁うつ病	8	12	10
精神神経症	2		2
精神病質			
精神遅滞	2		
てんかん		1	
中毒性精神障害	1	2	
その他及び不明			
脳器質性精神障害	16	10	7
その他の精神病			1
計	41	37	34

オ 精神障害者保健福祉手帳所持者数（令和3年3月31日現在）

（単位：人）

	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計	
平成30年度	587	37	51	15	15	705	
令和元年度	598	40	53	14	16	721	
令和2年度	計	603	41	49	17	16	726
	1級	130	9	12	5	3	159
	2級	394	25	30	9	13	471
	3級	79	7	7	3		96

カ 自立支援医療受給者証（精神通院）所持者数（令和3年3月31日現在）

（単位：人）

	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
症状性を含む器質性精神障害	22	2	3		1	28
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	15	1	2	1		19
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	370	24	29	9	10	442
気分（感情）障害	217	16	12	5	8	258
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	77	5	6			88
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	2					2
成人の人格及び行動の障害	11		1			12
知的障害（精神遅滞）	34		4	1	1	40
心理的発達の障害	93	1	4	1	1	100
小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び詳細不明の精神障害	27	1	2	1		31
てんかん	85	9	8	5	7	114
その他の精神障害						
分類不明	73	4	2	2	1	82
計	1026	63	73	25	29	1216

(2) 精神保健福祉相談状況

実施日 指定日 (年5回) 受付時間 午後2時～3時 従事者 精神科医

<相談内容別相談件数>

(単位：件)

		令和元年度相談件数	令和2年度相談件数	相談内容別															
				受診・入院について	通院・服薬について	生活指導等について	経済的問題	性格・行動上のこと	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスについて	ひきこもりについて	思春期	その他	自殺関連(再掲)
来所	定期	8	9	1					8										
	随時	25	17	3				1	1	1				1		6		4	
	電話	144	119	20	6	2		9	30				2		1			40	16
	計	177	145	24	6	2		10	39	1			2		2			44	16

(3) 家庭訪問指導状況

<家庭訪問指導件数>

(単位：件)

	令和元年度	令和2年度	対象者別訪問状況				支援内容(延件数)										
			総計	一般	社会復帰	アルコール	受診に向けた調整	通院・服薬指導	生活指導	アルコール	薬物	社会復帰	自殺関連	家族関係調整	その他		
延数	61	37	37	31	6		4	10	4				6				13

(4) 自殺対策事業

包括的基盤強化事業及び地域職域連携強化事業

多分野合同研修会(地域・産業保健連携推進情報交換会併催)

・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

《参考》

開催日	出席者	内容
令和元年11月8日(金)	下北管内事業所、 労働関係、経済問題相談窓口、市町村等 計28名	1 情報提供 「下北地域における自殺の現状について」 むつ保健所健康増進課 技師 佐藤 正枝 2 講演 「こころのスキルアップ～職場でできる心の健康づくり～」 公認心理師、臨床心理士 瀧澤 志穂氏 3 事例紹介 「地域産業保健センターの取り組み」 むつ下北地域産業保健センター コーディネーター 工藤 昭治氏 4 グループワーク 「今後、職場でできることを話し合ってみましょう」

(5) 市町村活動への支援

ア 事例検討会等への参加等

	むつ市	東通村	風間浦村	大間町	佐井村
要保護児童対策 地域協議会	3件	0件	0件	0件	0件
自立支援協議会 ケース検討会議	2件	0件	0件	0件	0件
個別 ケース会議等	1件	0件	0件	0件	0件
措置入院退院後 支援計画対象者	3名 《退院後支援検討会議：1件》				

イ 市町村との同行訪問

受診援助や継続ケース等への同行訪問：3件

(6) 精神障害者家族会及び当事者への支援

ア 精神障害者家族会

<管内家族会の状況>

家族会名	設立年月日	事務局	会員数 (R2年度末)
あじさいの会(むつ市)	昭和63年11月9日	向井ひろし氏	休止中
北通り地区精神障害者家族会	平成5年3月10日	風間浦村村民生活課	休止中
ふれあい家族会(川内町)	平成6年7月7日	むつ市役所川内庁舎	休止中
ひばの会(大畑町)	平成13年4月11日	むつ市役所大畑庁舎	7人
むつ下北メンタル福祉家族会連合会	平成21年7月23日	アックス工房内	
きさらぎの会(アックス工房)	平成23年2月27日	アックス工房内	20人程度
東通村いちいの会 (※3障害の家族会を統合)	平成26年4月1日	東通村社会福祉協議会	30~35人

イ 当事者の会

- ・なごみの会…平成28年4月～休会中。
- ・つどい…会員7名程度で年4回程度活動中。

(7) 関係機関等連絡会議

会議名	開催月日	場所	開催内容	出席者
市町村等精神保健福祉関係者連絡会議	令和2年10月20日(火)	むつ健康福祉庁舎	自立支援医療(精神通院医療)及び精神障害者保健福祉手帳の申請等に係る留意事項についての説明。	管内精神保健福祉関係者 10名 保健所 3名
精神科救急医療システム連絡調整委員会	令和3年2月		新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	

(8) 地域生活支援広域調整等事業

平成26年4月の精神保健福祉法の一部改正により、精神障害者の地域生活への移行促進に向けた見直しが行われました。精神障害者本人とその家族が、住み慣れた地域で適切な医療を受け、本人が希望する生活を送ることができるよう、医療・保健・福祉分野の関係機関が連携して支援する体制づくりが必要となっています。

ア 下北地域生活支援広域調整会議

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は中止となりました。

(参考：令和元年度実施状況)

開催日	出席者	内 容
令和2年1月28日(火)	25名 (指定特定相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、医療機関、市町村、保健所) 16団体	1 情報提供 ①「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに関する国及び県の取組」 提供者 青森県障害福祉課 主幹 山口 宏基 氏 ②「下北地域の長期入院患者の状況及び今年度の茶話会の実施状況について」 提供者 むつ保健所健康増進課 技師 平田 賀南 2 講話 「地域移行の推進に向けて～取り組んで良かったこと～」 講師 障がい者生活支援センター「すみれ」 所長 川村 和康 氏 3 グループワーク 「地域移行を推進するためには」

イ 茶話会

日時	場所	出席者	内容
令和2年8月4日(火)	むつ健康福祉庁舎	11名 相談支援事業所(3)、医療機関、市町村、県障害福祉課、保健所	・地域移行の実情や地域移行の流れ及び課題について情報共有した
令和3年3月2日(火)	むつ健康福祉庁舎	7名 相談支援事業所(2)、医療機関、市町村、県障害福祉課、保健所	・今年度の振り返り ・来年度計画について

7 難病

(1) 指定難病医療費助成制度及び特定疾患治療研究事業

原因不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、厚生労働省が定める疾病を指定難病といい、指定難病の患者に対して治療に係る医療費の一部を助成する制度を行っています。平成27年1月1日から「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、令和元年7月1日までに医療費助成の対象疾病が段階的に333疾病まで拡大されました。なお、制度改正前に特定疾患治療研究事業で対象であった5疾患については、負担の軽減を図ることを目的に同事業で医療費の一部を公費負担しています。

令和2年度末における医療受給者は526名です。

ア 病名別特定医療受給者数

疾病 番号	病 名	受 給 者 数		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
002	筋萎縮性側索硬化症	3	5	10
005	進行性核上性麻痺	5	4	3
006	パーキンソン病	70	66	66
007	大脳皮質基底核変性症	4	4	7
011	重症筋無力症	8	7	7
013	多発性硬化症／視神経脊髄炎	12	12	14
014	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	3	4	6
015	封入体筋炎		1	1
017	多系統萎縮症	5	6	4
018	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	32	30	31
019	ライソゾーム病	4	4	4
022	もやもや病	4	4	5
023	プリオン病	1		
028	全身性アミロイドーシス	1	1	1
034	神経線維腫症	5	5	5
035	天疱瘡	1	1	1
037	膿疱性乾癬(汎発型)	1	1	1
038	スティーヴンス・ジョンソン症候群		1	2
040	高安動脈炎	4	3	3
042	結節性多発動脈炎	1		
043	顕微鏡的多発血管炎	4	5	6
044	多発血管炎性肉芽腫症	2	2	2
045	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	3	2
046	悪性関節リウマチ	3	1	1
047	バージャー病	4	4	4
049	全身性エリテマトーデス	24	25	25
050	皮膚筋炎／多発性筋炎	8	9	10
051	全身性強皮症	6	5	5
052	混合性結合組織病	5	5	5
053	シェーグレン症候群	3	3	4

疾病 番号	病 名	受 給 者 数		
		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
054	成人スチル病	3	3	3
056	ベーチェット病	11	10	11
057	特発性拡張型心筋症	9	10	9
060	再生不良性貧血			1
061	自己免疫性溶血性貧血	1	2	2
063	特発性血小板減少性紫斑病	6	6	7
064	血栓性血小板減少性紫斑病		1	1
065	原発性免疫不全症候群	2	2	2
066	IgA 腎症	7	7	8
067	多発性嚢胞腎	5	6	8
068	黄色靱帯骨化症	3	3	4
069	後縦靱帯骨化症	28	27	31
070	広範脊柱管狭窄症	3	2	2
071	特発性大腿骨頭壊死症	14	11	12
072	下垂体性 ADH 分泌異常症	1	1	1
074	下垂体性 PRL 分泌亢進症	1	2	1
077	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	3	4	4
078	下垂体前葉機能低下症	10	14	18
081	先天性副腎皮質酵素欠損症	1	1	1
084	サルコイドーシス	9	9	9
085	特発性間質性肺炎	7	6	4
086	肺動脈性肺高血圧症	1		
089	リンパ脈管筋腫症	1	1	1
090	網膜色素変性症	12	10	10
093	原発性胆汁性肝硬変	12	11	11
095	自己免疫性肝炎	5	2	2
096	クローン病	27	33	35
097	潰瘍性大腸炎	51	59	65
098	好酸球性消化管疾患		1	1
113	筋ジストロフィー	2	2	3
117	脊髄空洞症		1	1
119	アイザックス症候群	1		
127	前頭側葉変性症	1	1	1
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	1	1	1
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	2	1	1
210	単心室症		1	1
218	アルポート症候群		1	1
222	一次性ネフローゼ症候群	8	9	9
224	紫斑病性腎炎			1
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）			1
271	強直性脊椎炎	1	1	1
296	胆道閉鎖症	1	1	1

疾病 番号	病 名	受 給 者 数		
		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
300	IgG4 関連疾患		1	1
306	好酸球性副鼻腔炎	3	2	4
合 計		589	487	526

イ 病名別特定疾患医療受給者数

	病 名	受 給 者 数		
		平成30年度	令和元年度	令和 2 年度
1	スモン	1	1	
2	プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。）			
3	重症多形滲出性紅斑（急性期）			
4	難治性の肝炎のうち劇症肝炎			
5	重症急性膵炎			
合計		1	1	0

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

(ア) 訪問相談

難病患者・家族が抱える日常生活及び療養上の悩みに対して相談を行うため、4名の在宅保健師に訪問相談員の証を交付し、選定した難病患者へ継続して訪問支援をしました。活動日数は18日、活動件数は延べ24件（実件数14件）でした。

(3) 保健所保健師による訪問指導等

(ア) 家庭訪問

主に患者や家族、関係機関から訪問依頼があった患者等に対して訪問しました。実件数18件、延べ21件行いました。

(イ) 所内面接指導

特定医療受給者証新規交付時や更新時及び随時相談を行いました。19件の相談件数でした。相談内容は、申請等に関する事、医療、家庭看護、福祉制度、就労、食事・栄養に関するもの等でした。

(ウ) 電話相談

随時電話相談を行い、相談件数は18件でした。

8 人材育成

(1) 新任保健師研修

新任保健師が保健師の専門性を発揮し、「みる」「つなぐ」「動かす」という地域保健活動を展開できるよう、対人支援や保健事業実施のための基本的な実践能力を身につけることを目的に研修会を開催しました。

○対象者：6人（むつ市：2人、大間町：1人、風間浦村：1人、保健所：2人）

	経験年数	人数
むつ市	3年目	1人
	4年目	1人
大間町	1年目	1人
風間浦村	1年目	1人
保健所	1年目	1人
	4年目	1人

○1回開催

	開催日	内容	場所	参加者
1	令和2年 8月31日	講義及び演習 「地域診断～地域の課題を踏まえた事業展開～」 講師：八戸学院大学健康医療学部 看護学科 准教授 西村 美八 ※保健師連絡会議と併催。	むつ来さまい館	26人
2		中止		

(2) 青森県新任等保健師育成支援事業

市町村の20歳代等の若手保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援を行い、「地域を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることを目的に実施しています。

令和2年度は、1名が事業を活用しました。

(3) 青森県保健所保健師等育成支援事業

地域県民局地域健康福祉部保健総室の新任保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援を行い、「地域を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることを目的に実施しています。

令和2年度は、1名が事業を活用しました。

(4) 保健師連絡会議

市町村のリーダー期及び次期リーダー保健師がその機能を発揮し、チームリーダーとしての役割を果たすことを目的に開催しました。

- ・対象者：市町村管理期相当保健師、市町村中堅相当保健師、保健所保健師
- ・1回開催

	開催日	内容	場所	参加者
1	令和2年 8月31日	○午前 情報交換 (1) 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた事業等取組計画について (2) 人材育成体制について ○午後 講義及び演習 「地域診断～地域の課題を踏まえた事業展開～」 講師：八戸学院大学健康医療学部 看護学科 准教授 西村 美八 ※新任保健師研修と併催。	むつ来さま い館	26人
2		中止		

9 総合的地域診断システム構築事業

地域及び保健所関連業務に係るデータを総合的に分析し、企画評価に活用することにより、複雑多様化する健康課題の解決に向けた的確で効果的な健康施策を推進することを目的に、市町村地域診断等に関する事として、特定健診・レセプトデータ等の集計及び総合的地域診断システム推進事業を実施しました。

(1) 市町村地域診断等に関する事

これまで特定健康診査データ及びレセプトデータを用いた地域診断を実施してきたが、レセプトデータをより分析しやすいように新たにツールが作成されたことから、このツールを用いて、市町村がレセプトデータの分析を行うことにより、地域診断を実施し、より効果的で効率的な「健活」を推進できるようにすることを目的に実施しました。

(2) 総合的地域診断システム推進事業

県本庁や保健所が担うべき情報分析機能を強化するために、ITを活用した「知（情報）の伝承」システムを構築するため、難病・精神関係の分析のためのツールが平成23年度開発され、相談等で活用が図られています。

10 組織育成

(1) 保健協力員連絡会

健康づくりの担い手である保健協力員活動の活性化を図り、地域住民の健康水準の向上につなげるために、自主的活動に向けての支援を行いました。

ア 市町村保健協力員配置状況（令和2年度）

（単位：人）

市町村名	むつ市 むつ地区	むつ市 川内地区	むつ市 大畑地区	むつ市 脇野沢地区	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
協力員数	94	32	67	23	36	60	30	34	376
組織会の有無	有	有	有	有	有	有	有	有	—
設置年月日	S38年1月	S36年9月	S33年4月	H7年7月	S54年1月	H6年11月	S54年7月	S48年4月	—

イ 保健協力員連絡・研修会事業

青森県国民健康保険団体連合会からの助成を受け実施しました。

役員会で研修内容を計画し、それぞれが役割を果たし、主体性を持って取り組みました。

開催日	場 所	研修内容	参加者
令和2年 8月1日（土） ※書面開催議決日	—	第1回管内保健協力員連絡会役員会 ①令和2年度役員体制について ②令和元年度下北地方保健協力員連絡会実績報告 ③令和元年度収支決算報告 ④令和2年度収支予算案 ⑤令和2年度下北地方保健協力員連絡研修会について ⑥各市町村の令和2年度活動計画について	役員 9人 (書面)
令和2年 9月25日（金）	下北文化会館	令和2年度下北地方保健協力員連絡会研修会 ①講話「正しい知識でwithコロナ」 講師 むつ保健所職員 ②運動「いきいきレクリエーション教室」 講師 むつ下北地区レクリエーション協会 白川直人氏、白川久子氏	31人
令和3年 3月16日（火） ※書面開催議決日	—	第2回管内保健協力員連絡会役員会 ①令和2年度活動報告、収支決算報告 ②令和3年度活動計画案及び予算案について ③令和3年度以降役員体制について ④令和3年度総会・研修会の活動発表地区について	役員 9人 (書面)

(2) 食生活改善推進員連絡協議会

地域に密着した食生活改善活動にあたる食生活改善推進員の調理実習等地区組織活動を指導、支援しました。

ア 市町村食生活改善推進員の配置状況

(令和3年3月現在) (人)

市町村名	むつ市 むつ地区	むつ市 川内地区	むつ市 大畑地区	むつ市 脇野沢地区	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	合計
会員数	26	30	17	9	18	26	30	7	163

イ 管内食生活改善推進員連絡協議会の育成・支援

開催日	場 所	内 容	参加
令和2年 4月27日(月)	むつ保健所	第1回役員会 ・管内協議会総会開催の可否について	9人
令和2年 7月8日(水)	むつ保健所	第2回役員会 ・令和2年度管内協議会の事業について	9人
令和2年 9月24日(木)	下北文化会館	管内合同研修会 ・生涯骨太クッキング 調理実習	18人
令和2年 11月27日(金)	むつ保健所	第3回役員会 ・県理事会報告、レシピ選考会	8人
令和3年 3月17日(水)	むつ保健所	第4回役員会 ・令和3年度管内総会の実施について	8人

(3) 地域保健関係者研修

多様化・高度化する保健ニーズを有する地域住民がより主体的に健康を高め、地域において安心して生活できるよう、その支援者である地域健康福祉部・市町村等の地域保健関係者が、健康な地域づくりを目指して専門的知識や技術を習得し、生活者重視の視点にたった保健福祉サービスが提供できるように、地域保健関係者の資質の向上及び関係者間の連携強化の方法について研修することを目的として実施しました。

	年月日	研修内容		対象者	受講者数				
		テーマ	講師等		健康福祉部	市町村	関係者	その他	計
1	令和2年 8月31日	<p>第1回保健師連絡会議 ※午後の部は第1回新任保健師研修と併催。</p> <p><午前の部> (1)情報交換 ①新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた事業等取組計画について ②人材育成体制（保健師活動指針改定版の活用）について</p> <p><午後の部> (1)講義及び演習 「地域診断～地域の課題を踏まえた事業展開～」</p>	<p>むつ保健所 健康増進課</p> <p>八戸学院大学 健康医療学部 看護学科 准教授 西村 美八</p>	<p><午前の部> 管内市町村管理期相当保健師、中堅相当保健師、保健所保健師</p> <p><午後の部> 管内保健師全員（新任保健師～管理期相当保健師）、管内トレーナー保健師</p>	4	16	2	4	26
2	令和2年 10月5日	<p>市町村職員向け感染対策研修会</p> <p>(1)講義 「感染対策の基本」</p> <p>(2)演習 「感染症患者が発生！その時どうする？」～環境消毒と濃厚接触者への生活支援の一連の流れをデモンストレーション。対応のポイントは？～</p> <p>(3)情報交換 ～市町村の取り組み等で困っていること～</p>	<p>むつ保健所 所長 齋藤 和子</p>	市町村職員	4		9		13
3	令和3年 3月	<p>第2回保健師連絡会議 ※R3.1/21 開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症が発生したため、急遽書面開催に変更。</p> <p>(1)情報提供 「糖尿病性腎症重症化予防の取組状況について」</p> <p>(2)情報交換 「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた事業(特定健診及びがん検診)実施状況」</p>	<p>県高齢福祉保険課</p> <p>むつ保健所 健康増進課</p>	管内市町村管理期相当保健師、中堅相当保健師、保健所保健師					

	(3)意見交換 「災害時に備えた下北管内基本情報について」	むつ保健所 健康増進課							
	(4)情報提供 「新型コロナ感染症について」	むつ保健所 健康増進課長							

1 1 虚偽・誇大広告の禁止等食品の表示に関する指導・相談

健康増進法に基づく虚偽・誇大広告の禁止、食品表示法に基づく栄養成分表示等に関する食品の表示が規定通りに行われることを目的として、食品関連業者からの相談を受け、また指導を実施していますが、虚偽・誇大広告の禁止に関する指導・相談及び栄養成分表示に関する指導・相談は41件でした。

1 2 石綿（アスベスト）に係る健康相談状況

石綿（アスベスト）に係る健康被害状況について関係企業から相次いで公表されていることを契機として、住民の石綿に対する健康不安が高まっていることを受けて、県では、国の指示を受けて保健所においてアスベストに関する健康相談を平成17年7月より実施し、令和2年度は、来所相談及び石綿健康被害救済給付申請件数は1件でした。

13 感染症予防

(1) エイズ予防関係

エイズ及び性感染症の予防・まん延防止を図るため、保健所に相談窓口を開設し、匿名での相談・無料の検査を月1回実施しています。平成31年度からHIV即日検査を導入しました。HIV抗体検査の他、性器クラミジア抗体検査及び梅毒血清検査を行っています。

区分 年度	採血件数		相談件数		相談内訳			
					電話		来所	
	男	女	男	女	男	女	男	女
H30	12	5	10		10			
H31/R1	8	3	17		17			
R2	8	3	13		13			

(2) ウイルス性肝炎検査・相談

ウイルス性肝炎（B型・C型）の感染者の早期発見と早期治療に結びつけ、肝硬変、肝がん等への進行を防ぐことを目的に、平成23年4月より無料の検査を月1回実施しています。

区分 年度	採血件数		相談件数		相談内訳			
					電話		来所	
	男	女	男	女	男	女	男	女
H30	12	6		2		2		
H31/R1	4	1						
R2	3	1						

(3) 感染症発生状況（全数把握感染症）

(人)

病名		平成30年	令和元年	令和2年
一類感染症	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	ペスト			
	マールブルク病			
	ラッサ熱			
二類感染症	急性灰白髄炎			
	結核	10	11	6
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
三類感染症	コレラ			
	細菌性赤痢			
	腸管出血性大腸菌感染症	4		1
	腸チフス			
	パラチフス			
四類感染症	ツツガムシ病			1

病 名		平成30年	令和元年	令和2年
五類感染症	アメーバ赤痢			
	ウイルス性肝炎（A型・E型除く）			
	梅毒	1	2	
	風しん	1（臨床診断例、検査陰性）		
	その他の感染症（省令で規定）	32（百日咳）	9（百日咳5、カルバペネム耐性腸内細菌感染症、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘（入院例））	14（百日咳3、カルバペネム耐性腸内細菌感染症11）

注）感染症発生動向調査システムデータから

（4）感染症サーベイランス事業（定点把握感染症）

管内における定点医療機関は6か所で、インフルエンザ6か所・小児科4か所・眼科1か所・基幹1か所からの報告を集計し、週単位または月単位で県や国へ報告しています。

令和2年において最も報告数が多いのはインフルエンザ、これに続いて、感染性胃腸炎となっています。

感染症の発生動向をみながら、関係機関に情報提供し感染拡大防止に活用しています。

感染症サーベイランス年次状況

報告(届出)区分	調査単位(届出期間)	疾 患 名	平成30年	令和元年	令和2年
インフルエンザ定点	週(次の月曜)	インフルエンザ	2,304	3,961	677
小児科定点	週(次の月曜)	RSウイルス感染症	76	27	16
		咽頭結膜熱	31	19	29
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	305	88	27
		感染性胃腸炎	695	766	337
小児科定点	週(次の月曜)	水痘	62	32	28
		手足口病	147	369	7
		伝染性紅斑	147	81	34
		突発性発しん	69	85	62
		ヘルパンギーナ	60	54	13
眼科定点	週(次の月曜)	急性出血性結膜炎			
		流行性角結膜炎	1	9	1
性感染症定点	月(翌月初日)	性器クラミジア感染症	15	8	7
		性器ヘルペスウイルス感染症	2		1
		尖圭コンジローマ	3	2	1
		淋菌感染症		1	
基幹定点	週(次の月曜)	クラミジア肺炎（オウム病を除く）			
		細菌性髄膜炎	1	1	
		マイコプラズマ肺炎	248	219	56
		無菌性髄膜炎		1	

報告(届出)区分	調査単位(届出期間)	疾患名	平成30年	令和元年	令和2年
基幹定点	月 (翌月初日)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			
		薬剤耐性緑膿菌感染症			

(5) 青森県肝炎治療特別促進事業（肝炎治療費助成制度）

平成20年度より、将来の肝硬変、肝がんの予防及び肝炎ウイルスの感染防止を図ることを目的にインターフェロン治療による「肝炎治療医療費助成」を行っています。医療費助成の対象は年々拡大しており、平成30年2月にはC型慢性肝炎又はChild-Pugh分類Aの代償性肝硬変に対するインターフェロンフリー治療（レジパスビル／ソホスブビル配合錠）による治療が医療費助成の対象になっています。

<肝炎治療受給者証申請件数>

(件)

区分 年度	インターフェロン 治療	インターフェロン 3剤併用治療	インターフェロン フリー治療	核酸アナログ製剤 治療
平成30年度			18	49
令和元年度			10	57
令和2年度			3	11

1 4 結核患者支援

我が国における近年の結核罹患状況は、若年者層では低いですが、社会の高齢化と共に発病者の高齢化も進み全体では横ばいの傾向にあります。管内では、幸いなことに若年者の発病は少なく、集団感染事例は起きていませんが、受診の遅れや診断の遅れによる重症化がみられます。

平成19年4月1日より結核予防法が「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合され、定期健康診断の結核検診は一般住民・事業所等の必ず検診を受けなければならない者（対象）が緩和されました。一方、接触者健康診断は通知から勧告、措置と強化されました。

(1) 結核診査協議会

結核診査協議会は月2回開催し、結核患者の入院勧告の可否及び医療内容の適否について診査しています。

区分 年度	感染症法第37条の2関係 (医療内容の適否)	感染症法第20条関係 (入院勧告の可否)	計 (件)	備 考
平成30年度	11	20	31	
令和元年度	10	5	15	
令和2年度	3	12	15	

(2) 新登録患者数（市町村・年齢別）

全国的には結核患者が高齢者に偏在する傾向は変わりませんが、若年者の発病も目立ってきている点を留意しなければなりません。新登録患者のうち、管内の高齢者層の70才以上が占める割合は、平成30年100%、令和元年83%、令和2年は80%となっています。

(令和2年)

年齢階級 市町村	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70	計	結核感染症 (別掲)潜在性
	4	9	14	19	29	39	49	59	69			
む つ 市									1	2	3	2
大 間 町												
東 通 村												
風 間 浦 村												
佐 井 村												
令 和 2 年									1	2	3	2
令 和 元 年								1		5	6	5
平 成 3 0 年										9	9	7

(3) 全登録者数（市町村・年齢別）

全登録者数は高齢者層に多く、令和2年は30～49歳の比較的若年の層と60歳以上の層との比率は約1:3となっています。

（令和2年12月31日現在）

市町村	年齢階級										
	0 ～ 4	5 ～ 9	10 ～ 14	15 ～ 19	20 ～ 29	30 ～ 39	40 ～ 49	50 ～ 59	60 ～ 69	70 ～ 79	計
むつ市						1	1		2	2	6
大間町											
東通村								1		1	2
風間浦村											
佐井村											
令和2年						1	1	1	2	3	8
令和元年						1	1	1	1	8	12
平成30年						2			1	8	11

※ 潜在性結核感染症は除く

(4) 結核患者登録状況（市町村・活動性別）

ア 新登録患者

（令和2年）

市町村	計	性別		肺結核				活動性 肺外 結核
		男	女	登録時菌所見				
				喀痰塗抹陽性		その他の結核菌 陽性	菌陰性 その他	
				初回治療	再治療			
むつ市	3	3		3				
大間町								
東通村								
風間浦村								
佐井村								
計	3	3		3				

※ 潜在性結核感染症は除く

イ 全登録患者

(令和2年12月31日現在)

市町村	計	性別		活 動 性 結 核					活動性 肺 外 結 核	不活動 性結核
		男	女	肺 結 核			菌陰性 その他			
				登録時菌所見						
				喀痰塗抹陽性	その他の結核 菌陽性					
初回治療	再治療									
む つ 市	6	3	3	6						
大 間 町										
東 通 村	2	1	1				1	1		
風 間 浦 村										
佐 井 村										
計	8	4	4	6			1	1		

※ 潜在性結核感染症は除く

(5) 結核患者有病率及び罹患率

人口の少ない町村では、患者1人が有病率・罹患率に与える影響が大きく、増減の変動が大きくなるため単年の結果による評価が困難です。平成29年から罹患率が上昇していましたが、令和元年からは減少に転じています。

区分	人 口 R2・10・1推定人口	登録活動性 患 者 数	有 病 率 (人口10万人対)	新 登 録 患 者 数	罹 患 率 (人口10万人対)
む つ 市	53,729	6	11.2	3	5.6
大 間 町	4,641				
東 通 村	5,902	2	33.9		
風 間 浦 村	1,666				
佐 井 村	1,828				
令 和 2 年	67,766	8	11.8	3	4.4
令 和 元 年	68,986	12	17.4	6	8.7
平 成 3 0 年	70,582	11	15.6	10	14.2

(注) 登録活動性患者数：有病率は令和2年12月31日現在

新登録患者数：罹患率は令和2年中

※ 有病率 = (年末活動性全結核患者数) ÷ (人口) × (10万)

※ 罹患率 = (年間新登録患者数) ÷ (人口) × (10万)

※ 潜在性結核感染症は除く

(6) 定期結核健康診断

ア 一般住民結核検診状況

(令和2年度)

種別 市町村別	胸部X線撮影			BCG接種		
	対象数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B)/(A) %	対象数 (C)	被注射者数 (D)	受診率 (D)/(C) %
むつ市	18,670	1,120	6.0	207	235	113.5
大間町	1,688	190	11.3	32	22	68.8
東通村	3,216	922	28.7	35	31	88.6
風間浦村	1,398	288	20.6	4	4	100.0
佐井村	1,509	327	21.7	5	8	160.0
令和2年	26,481	2,847	10.8	283	300	106.0
令和元年	26,686	4,941	18.5	351	383	109.1
平成30年	28,437	5,261	18.5	462	494	106.9

(注) (B) は間接撮影を省略して直接撮影のみ行った者を含む。

イ その他事業所等結核健康診断状況

(令和2年度)

	エックス線検査			精密検査 指導区分			
	対象数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B)/(A) %	対象数 (C)	受診者数 (D)	受診率 (C)/(D) %	菌検査
使用者	3,558	3,398	95.5	16	10	62.5	
学校長	529	527	99.6	3	3	100.0	
施設長	796	760	95.5	44	41	93.2	
令和2年度	4,883	4,685	95.9	63	54	85.7	
令和元年度	4,844	4,666	96.3	64	47	73.4	
平成30年度	4,859	4,693	96.6	71	67	94.4	

(7) 接触者健康診断

接触者健康診断においては、令和2年度は胸部X線検査延べ3件、QFT-4G検査延べ13件実施しました。

接触者 健康診断		胸部X線検査 直接撮影者数	QFT-4G検査数	被発見者	
				結核患者	発病の恐れがある者
	家族	1	3	1	
	その他	2	10	1	

※被発見者には潜在性結核患者を含む。

(8) 相談及び訪問指導状況

年内の新規登録者(潜在性結核感染症含む)5件に対し、1週間以内に面接を実施しました。また、DOTS対象者(R1年登録患者含む)5名中5名にDOTSを実施し、治療中断者はいませんでした。新規登録患者及びDOTS対象者に対する訪問件数は22件、所内相談は2件でした。

(9) 結核対策特別促進事業

ア 院内DOTSカンファレンス

対象者がありませんでした。

イ 地域DOTSカンファレンス

対象者がありませんでした。